

千葉知施連ニュース 第16号

千葉県知的障害者支援施設家族会連合会 <http://c-tisiren.jp>

〒289-3186 匝瑳市川辺6166 発行日：平成30年8月25日

平成30年度千葉知施連総会報告

平成30年6月24日（日）午後1時から30年度千葉県知的障害者支援施設家族会連合会の総会が千葉市ビジネス支援センター「きぼーる」で開催されました。

当日39支部から70名が出席し、第Ⅰ部総会で議長に野尻武生氏（大久保学園）選出し第1号議案①29年度活動報告②29年度会計決算報告・監査報告第2号議案30年度役員改選（案）第3号議案①30年度活動方針案②30年度会計予算案が審議され、賛成多数ですべて承認されました。

30年度活動計画の主な内容は次のとおり。

- ①支部長会議・研修会を開催し、情報提供、意見交換及び研修を重ねて利用者の生活改善・向上に努める。
- ②各支部の役員不足や高齢化による組織の弱体化を踏まえ、支部長会議の中で組織の強化に取り組み、連合会全体の強化を図る。
- ③施設における虐待防止の取り組み
- ④メーリングリスト、千葉知施連ニュース、全施連ニュースなどを通じて各支部へ情報を伝え、共通認識を高める。
- ⑤全施連事業活動の推進及び関東ブロック会議共通課題の取り組み
- ⑥県健康福祉部障害福祉事業課に障害者施策や利用者が抱える問題を提起し要望書を提出する。
- ⑦福祉協会との連携を図り、障害福祉施策の動向情報収集に努めるとともに、障害福祉団体との友好関係を強め、共通課題への取り組み

報告事項として、6月11～12日開催の全施連社員総会・理事会報告、全国大会兵庫の開催案内などがありました。

総会終了後、第Ⅱ部来賓挨拶と講演に入り、来賓として千葉県健康福祉部障害福祉事業課長岡田慎太郎氏、千葉市保健福祉部高齢障害部障害者自立支援課長柏原郁夫氏、千葉県知的障害者福祉協会副会長・支援施設部会長の佐久間智氏から挨拶をいただき、続いて岡田課長の講演があり、30年3月策定の「第六次千葉県障害者計画」の概要について講演をしていただきました。特に、「入所施設等から地域生活への移行の推進について」計画本体の抜粋をもとに説明をいただき大変参考になりました。

◇「第六次千葉県障害者計画」の概要◇

主要基本施策は、引き続き「障害のある人が地域でその人らしく暮らせる共生社会の構築」とし、「障害のある人がその人に合った福祉サービスを選択しつつ、地域社会の中で人々と共に共生し、その人らしく暮らせる環境を整備」とするものです。

その為、「入所施設から地域生活の移行の推進」が前計画以上に予定されています。障害のある人の多様なニーズに応える為、グループホームのサテライト型住居の設置、既存住宅の活用等がこれまで以上に推進されます。これらの支援策として市町村における地域生活支援拠点に力点が置かれ、現在これら整備されている圏域はありませんが、3年後には16か所に増やされる計画です。

一方、入所施設は障害のある人の地域生活支援の推進の為、これまで以上に相談機能の発揮、体験機会や場の提供、緊急時の受入体制など、在宅者支援や地域生活者の拠点として重要視されています。またグループホームや地域での生活が困難になった場合に利用できるように、小規模化、バリアフリー化、高齢化対応などの改修を行い、安全・安心な住まいの場として整備が図られます。

県立袖ヶ浦福祉センターについては、第三者検証委員会の答申に基づき、定員規模の半減（50名程度）を目指すと共に、県立施設として強度行動障害支援拠点としての機能・役割を果たしていくこととしています。

この外重度・重複障害者の医療軽減や暮らしの安全・安心に関して災害や防犯対策について推進項目に入れられました。

しかし当連合会が要望してきました入所施設の新設、定員増加については計画に入りませんでした。初めて短期入所事業者の12%増加が計画されました。

平成30年度全施連社員総会・理事会報告

30年6月11・12日平成30年度全施連社員総会及び第1回理事会が開催されました。社員総会に先立ち理事会で①29年度事業報告②同会計決算報告・監査報告③30年度事業計画案④同会計予算案が審議了承され、その後社員総会に議題として提出され、全議案可決承認された。

○29年度事業報告での障害福祉情勢報告

「我が事・丸ごと」地域共生社会施策、地域包括ケアシステム強化法成立、障害福祉サービス等報酬改定

○30年度事業計画

- 1) 24時間一貫した快適な支援施設の新設請願
- 2) 新しい形の支援施設のあり方に関する提言パートⅡ
- 3) 行政議会への陳情と意見交換
- 4) 介護保険優先の原則の撤廃
- 5) 支援区分の廃止
- 6) 組織の拡大と強化
- 7) ひとり一人の活動力強化の研修会
- 8) 全施連内部学習会
- 9) 友誼団体との連携強化
- 10) 財政基盤の強化

* 提言パートⅡ－新しい施設の具体像について－の構成は次のとおりです。

タイトル（仮称）羽ばたけ！地域共生ホーム ― 障害のある人の新しい暮らしの場を求めて
はじめに 地域共生ホームとはなにか

第1章 新しい施設「地域共生ホーム」の創設を求めて

第2章 「地域共生ホーム」から展開する地域生活

第3章 職員の専門性の向上と待遇改善を求めて

第4章 「地域共生ホーム」の長の要件

第5章 施設経営と運営のあり方について

第6章 家族の役割と法的位置を明らかに

第7章 国・自治体の責任と役割を明らかに

第8章 当事者の権利擁護のために

提言パートⅡを本として出版する。発行は2019年6月ごろ

～ 施設紹介 ～

社会福祉法人野栄福祉会 障害者支援施設 のさか学園・しおさいホーム
〒 289-3186 千葉県匝瑳市川辺6166番地・7970番地2

◇平成30年6月末で創立50周年を迎えました◇

【沿革】

- 昭和43年6月 社会福祉法人エマオ学園設立認可
7月 知的障害者更生施設「エマオ学園」開設（定員50名 県内民間施設の先駆け）
58年11月 法人名を「野栄福祉会」に、施設名を「のさか学園」に変更
平成3年5月 老朽民間社会福祉施設整備事業として園舎の全面改修工事と定員を60名に
11年4月 知的障害者更生施設「しおさいホーム」開設（定員60名・短期入所6名）
17年4月 地域生活援助事業認可 グループホーム開所（18年10月共同生活援助）
21年11月 多機能型事業所「すてっぷ」開設（就労移行支援20名・生活介護10名）
24年4月 しおさいホームが指定障害者支援施設に移行（生活介護・施設入所60名 短期6）
25年4月 のさか学園が指定障害者支援施設に移行（生活介護・施設入所60名 短期2）
25年5月 指定放課後等デイサービス「どんぐりクラブ」開所（定員10名）
26年5月 多機能型事業所すてっぷ新園舎竣工、定員を生活介護30名・就労継続支援
B型10名に変更する 29年4月 のさか学園女性棟竣工

○職員配置状況（常勤換算）のさか学園47名 しおさいホーム54.2名 平成30年3月31日現在

○のさか学園利用者状況（施設入所支援 定員60名 男性40 女性20）

平均年齢 男性40.4歳 女性45.3歳 全体42.0歳 最高齢67歳 最年少20歳

在所年数 平均在所年数 男性13.3年 女性13.8年 最長利用27年0ヶ月

障害支援区分 平均区分 男性5.93 女性5.85 全体5.9

○しおさいホーム利用者状況

利用者年齢別	男性	59歳以下	9人	60～69歳以下	20	70～84歳以下	10	85以上	1	40名
	女性	59歳以下	5人	60～69歳以下	7	70～84歳以下	8	85以上	0	20名
	計		14		27		18		1	60

障害支援区分	男性	区分4	2人	区分5	5人	区分6	33人		
	女性		0		5		15		
	計		2		10		48		60名

○グループホーム（野栄）男性 つばさ4名 のぞみ4 わかば4 しおん4 女性 いずみ4名
（しおさい）男性 桜4名 女性 ひまわり4名

<年間行事・保護者会>（主なもの）

のさか学園・しおさいホーム合同 5月青空まつり 10月秋祭り（十二所神社祭礼） 7月法人研修会

のさか学園 6月あじさい祭り 9月奉仕作業（環境美化） 11月利用者・保護者・職員昼食会（成田市内のホテル） 2月保護者・職員懇談会 各月グループ別リクリレーションなど

しおさいホーム 各月誕生会 古希、喜寿のお祝い 保護者・職員懇談会 クリスマス会 忘・新年会など



県との懇談会開催のお知らせ

平成 30 年度県障害福祉事業課との懇談会が 9 月 6 日（木）に県教育会館で開催されます。
懇談会の質問要旨は次のとおりです。

1. 第六次障害者計画について、①入所施設の新設・定員増加策の必要性②グループホーム拡大策で対応できるのか（サテライト型を含む）③入所施設の地域拠点の役割に対応すべき老朽化・耐震化・防火・災害対策の具体的計画は④地域生活支援拠点の整備計画⑤袖ヶ浦福祉センター更生園削減計画の困難性の要因は⑥同センター削減に見合う新しい形の受け皿作りの考えは⑦短期入所事業の増加計画について⑧地域活動支援センターの設置推進⑨障害者支援のための家族・福祉・医療・教育等関係機関からなる協議会の設置・活動状況⑩全ての心身障害者の医療費を公的負担に（要望）
2. 社会福祉法人改革の実施について、①地域還元と施設の充実②監査法人の設置と内部統制システムの構築・実施③社会福祉充実計画について
3. 全施連の提言について、①「地域共生ホーム」（仮称）について②福祉サービスの第三者評価

第 14 回「全施連全国大会 in ひょうご」

平成 30 年度全施連全国大会が 10 月 23 日（火）、24 日（水）の 2 日間神戸市で開催されます。
皆様の多数の参加をお願いします。

○会場 シーサイドホテル舞子ビラ神戸

○大会テーマ 今から始める第一歩 ～福祉の後退を許さない～

1 日目 行政説明、記念講演会、交流会

2 日目 全員参加型討論会 テーマ「どうする？家族とわが子らの高齢化」



◆編集後記◆

今号から施設の紹介をします。次号からリレーで施設を紹介していきたく思います。
掲載希望の方（家族会）は、是非投稿してください。